

授業科目名： 人文地理学	教員の免許状取得のための 必修科目（高等学校 地理歴史） 選択必修科目（中学校 社会）	単位数： 2単位	担当教員名： 渡部 齋 担当形態： 単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校 社会・高等学校 地理歴史）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 地理学（地誌を含む）（中学校 社会）、地誌（高等学校 地理歴史）		
「学位授与の方針」との関係 該当なし			
授業のテーマ及び到達目標 (1)人文地理学を通して、複雑な人間生活空間を地理学的に考察することができること。 (2)学修で修得した知識・概念・地理的技能を活用して、諸地域の地域的特色を考察すること。			
授業の概要 (1)人口、都市、観光、交通、集落、人間生活などを中心に、地域的特色や歴史的背景に留意して、人文地理学的な見方や考え方を学修する。 (2)地図を活用した学修（作業的、体験的学修活動）から、思考力・判断力・表現力等の育成を図る。			
授業計画 第1回：人口地理学Ⅰ（分布と増減） 第2回：人口地理学Ⅱ（人口移動） 第3回：人口地理学Ⅲ（人口爆発のメカニズム） 第4回：人口地理学Ⅳ（小児高齢化時代） 第5回：都市地理学Ⅰ（都市の内部構造） 第6回：都市地理学Ⅱ（DIDとCBD） 第7回：都市地理学Ⅲ（都市圏） 第8回：都市地理学Ⅳ（都市の諸問題） 第9回：観光地理Ⅰ（観光の現状） 第10回：観光地理Ⅱ（歴史的な観光資源） 第11回：交通地理Ⅰ（交通の発達と都市構造） 第12回：交通地理Ⅱ（新たな交通手段） 第13回：地形図から見る人間生活Ⅰ（地図読解） 第14回：地形図から見る人間生活Ⅱ（地形と集落） 第15回：地形図から見る人間生活Ⅲ（自然災害）			
スクーリングでの学修			
テキスト 稲垣 稜（2014）『現代社会の人文地理学』 古今書院			
参考書・参考資料等 武井正明他（2015）『新版 地理の完成』山川出版社 『高等学校学習指導要領解説』地理歴史編、『中学校学習指導要領解説』社会編			
学生に対する評価 レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			